

地域創生のための、充実の総合情報を毎月お届けします

第41号



地域人

CHIKIJIN

巻頭インタビュー

内山 節

哲学者

連載

森まゆみ

暮らすように町に泊まる

雑踏の中の哲学

〔岡山県倉敷〕

古田尚也

人間と自然資源

進化を続ける

自然の聖地

〔高野山〕

好評連載

養老孟司

清成忠男

島蘭進

涌井雅之

二宮清純ほか

岩手県遠野市 夏谷隆治

山のふもとで暮らすこと

岩手県西和賀町 高野由実

美術や演劇を通して

町の人々と交流

高知県安芸市 小松圭子

限界集落になっても、

暮らしたい。

だから、生業を創る

広島県福山市 松居秀子

ふるさと鞆の浦を

次の世代へ伝える

香川県小豆島 内澤旬子

山里で獣と生きる

山姥になろう

島根県海士町 新谷真知子

6年前に

東京から移住。

大忙しの島暮らし

長崎県対馬市 武末聖子

国境の島ならではの

歴史と文化を発信

特集 現地直送! 「地域人」の記録

地域暮らしの 楽しさと問題

鹿児島県奄美市 楠田哲久

「なつかしさ」あふれる島・奄美

北海道札幌市 在田一則

北の街の自然に暮らす

奈良県橿原市 飯内洋介

日本芸能を通してみた奈良の叡智

新潟県新潟市 里村洋子

「農家の主婦見習い」たちの輝き

コアカア新聞

レンタカーカ

AKITAご当地レンタカー 秋田県秋田市

秋田の伝統工芸品で 装飾されたレンタカー

旅行や出張の際、重宝するレンタカーだが、全国どこでも同じような仕様車両で運用されていることが多い。そんななか、秋田県では地元の伝統工芸を内装に取り入れた「AKITAご当地レンタカー」通称「コトレン」が登場した。全国初となる伝統工芸とレンタカーのコラボが、新機軸として話題を呼んでいる。

「AKITAご当地レンタカー」を開発した株式会社ドラグーンの鎌田学社長。



こんなヒトにワクワク
アんなコトにドキドキ
こんなモノにソワソワ
アんなトコロにゾロゾロ



1 ハンドルには川連漆器の技術が施されている。2 ウィンドウスイッチパネルには樺細工の装飾が。3 独自の観光情報が得られるタブレットも装備。

秋田の伝統工芸でドレスアップされた車内は、ハンドルとコンソールパネルが、湯沢市名産の川連（かわつら）漆器の技術による漆仕上げで、時絵も施されている。ウィンドウスイッチパネルは山桜の樹皮を使った仙北市角館の樺（かは）細工で装飾され、天井には、草木染の高級絹織物である北秋田市の秋田八丈を使用。トランク部のフロアに、秋田杉のすのこが敷かれ、外装デザインには、秋田犬の写実も盛り込まれている。

開発したのは、秋田市に本社を置く株式会社ドラグーン。代表取締役の鎌田学さんによれば、川連漆器の若い職人たちから「伝統工芸の技術を自動車の内装に応用できないか」と相談を受けたことが発端だという。「車内を伝統工芸の新たな発信場所に」とコンセプトを定めたが、「川連漆器の技による漆塗布の工程は3カ月かかりますし、樺細工は雨天のドア開閉時に濡れても大丈夫なよう表面にウレタン塗装を施しました。秋田八丈は伸縮性が少ないため、正確な採寸と縫製技術が必要で、難燃性も確保しなければいけません」と鎌田さんは苦労を振り返る。

試行錯誤を経て、一昨年8月、秋田犬がプリントされたプリウス。現在はプリウス4台、アクア1台を配備。料金は6時間＝8,000円、12時間＝10,000円、24時間＝12,000円（税込）。5 海岸沿いを走る外装違いのプリウス。

